

# 令和7年度アクションプラン

子供の実態

《徳》	《知》	《体》
<ul style="list-style-type: none"> <li>○「あいさつ」「進んで活動」「仲よし」の3つを目標に、よりよい城端っ子を目指している。</li> <li>○学校全体にスマイルを増やす活動を、委員会や学年で企画・実行してきた。</li> <li>●自分から挨拶ができる子供がいるが、言われてからする子供も多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「聞き合う」ことを大切にし、話し手に姿勢を向けて、話合いをしている。</li> <li>○自分の言葉で考えを伝えたり、まとめたりしている。</li> <li>○パソコン操作に慣れてきた子供が増えている。</li> <li>●学習の定着には苦勞している子供が、各学年に一定数見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「最速王」「持久走記録会」「縄跳び大会」等、体を動かす企画に参加する子供が多く、楽しみながら運動している。</li> <li>○フッ化物洗口の効果でむし歯は少ないが歯肉炎の心配がある。</li> <li>●視力が1.0未満の児童数の割合が、県平均よりも高い</li> </ul>

週に2～3回タブレットを持ち帰り、学習に活用する。

家庭と協力し、タブレット使用のルールを決める。

城端学を生かし、「城端大好き」な子供を育む。

自ら課題を決めて学習する。

— 今年度の重点目標 —

**みんなで 笑顔を生み出す チームJ(+1)**

数値目標

**e ライブラリのドリル学習で花を咲かせる子供 80%**

**自分から毎日5人以上に挨拶する子供 80%**

**ランランタイムで元気に運動する子供80%**

達成に向けての手立て

《知》	《徳》	《体》
<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の充実</li> <li>・家庭学習の工夫</li> <li>・苦手分野の確認（学力調査等を基に）、課題や目標の設定</li> <li>・自主学習の推進</li> <li>・毎月のタブレット学習の取組状況確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級活動や児童会活動を通して挨拶の推奨</li> <li>・グループエンカウターの定期実施</li> <li>・教員の笑顔力UP</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育科の授業充実</li> <li>・運動委員会・健康委員会の企画で具体的な活動設定（ランランタイムでの目標達成・食後の歯磨き・食育等）</li> <li>・視力低下を防ぐための啓発活動</li> </ul>

評価方法

児童・保護者へのアンケートをタブレットを用いて2回（7月・11月）結果の公表は、テトルを用いて行い、城端地域学校評議員会で説明する。